

31番札所の裏山 観音山

標高 698m

山行実施日

2015年

11月23日

メンバー

K塚(L)、O
栗、H田よ、
W部、H原、
T脇、H川

小鹿野の里山、

観音山は紅葉の中。

前日までは雨の予報だったが、幸運にも予報が外れ、今朝は降っていない。太陽こそでなかったが何とか持ってくれそうな空模様でほっとする。もつとも里山なので、小雨でも行く予定ではあったが。

七時に北上尾に集合し、関越道に向かう。



山頂にて

ついていた。
牛首峠から観音山に向かつて、紅葉の谷を眺めながらの気持ちの良い尾根のトラバース歩きが続く。
途中、山城のあとの日尾城址よつてみる。

大きな石碑などもあって趣のあるところだった。

山での道草も、振り返ってみれば、いい思い出になることが多い。

一時間ほど歩くと、観音院からの登山道と合流する。

杉林の中の、急な木の階段を登ると山頂につながる峠に着いた。眼下に合角ダムと吉田の集落が一望できた。吉田への標識もあったので、かつては吉田から登られることも多かったのではと思った。

山頂は、左に少し登ったところで、岩場で展望に優れていた。六九八メートルの山頂には、地味なプレートが、岩の上にポツンと置かれているだけだった。西方面に白岩山、その奥には30年も前、小学生になったばかりの、二人のわが子をつれて登った二子山がくっきりと見えた。春には決まって、秩父、西上州の山に一泊で登っていたところが懐かしく思

い出された。

下山は観音院コースで下る。下部は砂岩や泥岩が隆起してできた岩の層だった。西斜面などいたるところに磨崖仏が沢山掘られていた。爪彫りの磨崖仏という小さい彫り物もあった。弘法大師が爪で掘ったという言い伝えがあつて、国指定天然記念物になっている。

一週三時間の短いコースであったが、展望に優れ、里山ならではの歴史、生活に触れたのも楽しく、いい思い出になった。

帰りにはコーヒーを飲んで、久しぶりの山仲間と、おしゃべりを楽しんだ。それでも家に五時ごろに帰れた。

里山は、日々忙しく過ごしている山好きな私にとっては、気軽に行ける癒し山だ。

(K塚 記)

コースタイム

観音院駐車場 9時発—
9時40分牛首峠—11
時10分山頂—12時山
頂発—1時観音院着